



雛まつり (霞蓮雛人形)

会長 楠 英夫 幹事 楳戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2024年2月13日 26号
2024年2月6日 第1例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|-----------------------------------|---------|-----------------|------------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 8. ニコニコ BOX の発表 | 吉田正一副 SAA |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱
(君が代, 奉仕の理想) | | 9. 新会員卓話 | 尾形泰久会員 |
| 3. 会長挨拶 | | 10. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 4. 米山記念奨学生紹介及び奨学金授与 | | 11. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| | 楠英夫会長 | 12. ロータリーソング斉唱 | (それこそロータリー) |
| 5. 地区委員委嘱状授与 | | | |
| 6. 幹事報告 | | | (司会進行: 山口裕由 SAA) |
| 7. 2月お誕生日の会員及び配偶者のご紹介 | | | |
| | 親睦活動委員会 | | |

本日のプログラム

歯科医師 比企紀代美様をお迎え致します。

次週のプログラム

2月20日(火)の例会は、飯野豊会員の卓話でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	62	6	73.81	2・3	10・11・12	8	83.33

【会長挨拶】

楠 英夫 会長



皆さんこんにちは

新年が始まり、あっという間に1ヶ月が経過しました。元旦に、能登半島で発生した地震により、建物の倒壊やインフラの崩壊など多くの被害があり、200人以上の方が犠牲になりました。被災地では、インフラの整備や仮設住宅の設置などが時間を要する状況ですが、被災された方々ができるだけ早く安心できる状態に復旧できることを心から願っています。同時に、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

これに関して、インターアクトでは、被災地支援の一環として、校内に募金箱を設置し、集まった寄付金を加賀市に義援金として送る取り組みを行っています。この地域を選んだ理由は、インターアクトの生徒が被災地である中で、他の地区よりも被害が比較的少ないとされ、かつネットでの調査を通じて、その地域が十分な支援を得られていないという情報を得たからとのことです。

さて、2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。

紛争予防と仲裁に関する、若者（将来にリーダーとなることが望まれる人）を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間であります。

月間テーマである平和構築と紛争予防ですが、最近の情勢を踏まえると、世界各地で紛争が激化しています。ロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエル・ハマス間の戦争、アメリカ軍によるイラクとシリアへの報復措置など、様々な地域での複数の紛争が続いています。これにより、平和構築と紛争予防の重要性が一層浮き彫りになっています。

ロータリーソングの歌詞にある『望むは世界の久遠の平和』『手に手つないでつくる友の輪』などの気持ちを持つことによって、人々が互いに尊重し支え合う社会を形成され、紛争のない世界への道が開かれるのではないのでしょうか。みんなが平和に向けて協力し、持続可能な未来を築くために努力することが、世界全体で平和を実現する一歩になると思います。

月間テーマの詳しい内容については、MY ROTARYの『活動分野の平和推進』及び『プログラムの平和フェローシップ』の参照またはネットで『平和構築と紛争予防月間』と検索して参照してください。

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合を開いた日であり、この日をロータリーの創立記念日とし、「世界理解と平和の日」として記念しています。2月はロータリーにとって大きな意味のある月でもあります、皆さんもロータリー創立記念日に当たり、ロータリーの意義をもう一度考えてみませんか。

2月11日は、ここL'AUBEでIMが開催されますので、次年度は土浦南ロータリークラブが担当となりますので、出席の程よろしく願いいたします。

最後に、会員増強も課題となっております。クラブ会員の皆様一人ひとりが会員増強を意識していただき、候補者をご紹介いただければ幸いです。今後も皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

コロナウイルスの感染者が増えており流行『第10波』に入っています。予防はインフルエンザもほぼ同じですが、手洗い、うがい、マスクの着用などです。健康を守るために、コロナウイルスに感染しないように気をつけてください。以上、会長挨拶とさせていただきます。

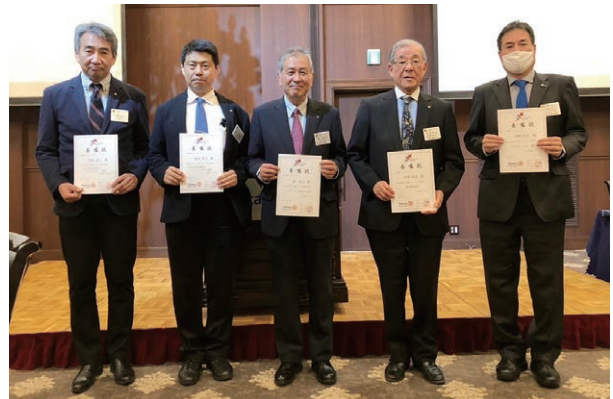
【米山記念奨学生紹介及び奨学金授与】



ニカ, アレクサンドルさん

【地区役員委任状授与】

- ・ 地区諮問委員及び財団監査委員会委員長
片岡信彦会員
- ・ 第6分区ガバナー補佐
清野宏之会員
- ・ クラブ奉仕・クラブサポート委員
和泉好一会員
- ・ 青少年奉仕・インターアクト委員
柴沼博之会員
- ・ ローターアクト委員
楠 英夫会員



【ポール・ハリス・フェロー表彰】

- ・ 伊東和幸 会員 (4回目)
- ・ 磯山貴洋 会員 (1回目)



【委員会報告】

職業奉仕委員会

福田 昭一 委員長

2月13日に行われる「優良事業所見学会」開催についてのご案内です。
例会終了後、中山工業(株)様見学後に(株)坂田園芸様の見学となります。
※中山工業(株)様見学時にヘルメット又は帽子の着用が必要となります。
各自、忘れずにお持ちください。

雑誌委員会

齊田 克史 委員長

ロータリーの友2月号及び見どころをレターボックスに配布させて頂きました。内容につきましては、「見どころ」を参考に今月号をよく読んで頂ければと思います。宜しくお願い致します。

ゴルフ同好会

藤田 憲之 ゴルフ同好会幹事

各卓に次回4月3日に行われるゴルフ同好会コンペのご案内をお配りいたしました。水海道ゴルフクラブで開催いたします。パーティーはゴルフ場にて行います。皆様 奮ってのご参加をお待ちしております。

【年男からの一言】

勝田 達也 会員（昭和39年生まれ）

還暦となりました。これでやっと諸先輩方の仲間入り、いや足元にたどり着いた感じです。これからはますます頑張ってお参りますので、今後とも宜しくお願い致します。



【新会員卓話】

尾形 泰久 会員



本日は、新会員卓話を担当させていただきます。2年前に入会致しました尾形でございます。本日は「大徳」の歴史を中心にお話をさせていただきます。

用意致しました肖像画は初代「徳兵衛」とその奥方「とあ」の掛け軸となります。絹本（けんぼん）といまして紙ではなく絹の上に描かれたものです。描いて頂いたのは、沼尻墨僊（ぬまじりぼくせん）さんです。折り畳み式地球儀の作成や寺子屋の経営などをされていた方だそうです。

次に家系図です。週報には載せられませんのでご了承ください。

初代 徳兵衛から私で9代目となります。

「大徳」の屋号いわれは、初代大国屋徳兵衛の文字から取り「大徳」となりました。

初代尾形徳兵衛（1741～1815）は千葉県香取神宮の神官尾形数馬の四男として生まれました。23歳の時、豪商国分勘兵衛（大国屋）が営む土浦の醤油醸造所に奉公し、のち支配人へ昇進、天明5（1785）年45歳の時に暖簾分けを許されて大国屋徳兵衛と名乗り、中城町（現土浦市中央1丁目）に店を構えて穀物や古着を商い始めました。現在、呉服店「大徳」として続く店の始まりです。古くから商家の少なくない土浦にあって、店の歴史は200年を超えます。

当家には、初代が店に働く者たちに示した掟、17項目からなる「尾形式目」なる決まり事が伝わっています。

1. 法度・触書を守る
2. 城内へは下駄・足駄禁止
3. 侍や町役人への無礼禁止
4. 商品貸出禁止
5. 手付金を支払ったら穀物は必ず徴収する
6. 火の用心、特にくわえキセル禁止
7. 盗賊用心
8. 夜の用事は子供に行かせる（夜遊びで大人がお金を使わないように）
9. 博打・勝負事禁止
10. 四つ時（午後10時）以降の出入り禁止
11. 羽織着用禁止
12. 安物を購入する客にも丁寧に対応せよ
13. 掛金は集金する
14. 出入りは帳面につける
15. 日々の記録も帳面につける
16. 無駄遣い禁止
17. 衣類は粗末なものを着る

文末、精を出して働けば天道にかない、繁盛につながる。善悪は各人が判断できるはずだ。お互いに気を付けて、和順を心懸けるべきだ。

このように商家は規則や家訓、家法など家のきまりを定め、家族と奉公人を教育し、家業を営んでまいりました。

年数回、衣類等の展示会を行っておりますので、ご興味がある方がいらっしゃいましたらぜひ一度遊びにお越しください。有難うございました。

2024/02/05 10:45 測量・地図ミニ人物伝：沼尻墨僊 | 国土地理院

国土交通省
国土地理院
Geomatics Institute of Japan

本文へ 総合トップへ 文字サイズ変更 標準 拡大 ENGLISH
サイトマップ

国土地理院に 位置の基準・ 地図・空中写 防災・災害対 GIS・国土の情 申請
ついて 測量情報 真・地理調査 応 報

地理院ホーム > 子どものページ > 測量・地図ミニ人物伝
> 測量・地図ミニ人物伝：沼尻墨僊

測量・地図ミニ人物伝：沼尻墨僊

「測量・地図ミニ人物伝」

沼尻墨僊
(1776-1856)



「舟式地球儀」(土浦市博物館/プレットリ)

沼尻墨僊(ぬまじりぼくせん)は茨城県土浦の人で、地理学を研究し、「地理書」を書き、世界地図の模写と舟式の地球儀を作成したことで知られています。

沼尻は、土浦の旧家(きゅうか)の9番目の子として生まれました。すぐに町医者であった沼尻家の養子(ようし)となりました。父は病気がちであったことから、若くして藩物の士立て(藩物売)にせしめられ、幸行にためたといわれます。こもこのころから、動物が好きで、いつの間にか地理学にきよめを持ち、研究書などを書いていますが、それが先生であったかは明らかではありません。

26歳の年には、世界各地について書いた地理学の研究書、「地球万国図説」を書きました。

彼が作った舟式地球儀ですが、12本の舟と長さ40センチメートルほどの棒を持つもので、舟を動かすことで、舟 地球儀が動く仕組みになっています。現在残っているのは、安政 2年(1855)に作られたもので、土浦市博物館に展示されています。

<https://www.gsi.go.jp/KIDS-MEMORI/numaji.html>

2024/02/06 10:50 国分グループ本社 - Wikipedia

ウィキペディア
フリー百科事典
国分グループ本社

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

国分グループ本社株式会社 (こくぶグループほんしや、英: **KOKUBU GROUP CORP.**) は、東京都中央区に本社を置く、酒類・食品の卸売会社、専門商社。K&Kの登録商標で知られる。

創業当時は醤油の製造・卸売業者であったが、明治以後は専門商社に専念した。現在、食品総合商社としてはグループ会社と経営統合し規模を拡大した、三菱商事系の三菱食品や伊藤忠商事系の日本アクセスに次ぐ全国3位の売上高を誇る。

沿革

- 1712年(正徳2年) - 伊勢国射和村(現在の三重県松阪市射和町) 名字辨別が許された名主で、伊勢国国司の北畠家旧臣の家系出身であった四代目・国分勘兵衛宗山が同郷出身で日本橋で呉服屋を開いていた富山家に奉公した。現在の茨城県土浦市に醤油醸造工場を設け、「大國屋」の屋号で開業。同時に現在の東京都中央区日本橋本町に店舗を開店する。
- 1880年(明治13年) - 醤油醸造業を廃止し、広く食品販売を業とする問屋に業種転換。
- 1908年(明治41年) - 「K&K」を商標登録。
- 1915年(大正4年) - 合名会社国分商店に組織変更。
- 1947年(昭和22年) - 国分漬物株式会社を設立。
- 1950年(昭和25年) - 合名会社国分商店と国分漬物株式会社を合併し、株式会社国分商店設立。
- 1971年(昭和46年) - 国分株式会社に商号変更。
- 2008年(平成20年) - 「K&K」商標登録100周年。
- 2012年(平成24年) - 創業300周年を迎える。

国分グループ本社株式会社
KOKUBU GROUP CORP.



国分グループ本社

種類 株式会社
市場情報 非上場
略称 国分、K&K
本社所在地 ● 日本
〒103-8241
東京都中央区日本橋1丁目1番1号
設立 1947年(昭和22年) 11月21日
創業は1712年(正徳2年)

業種 卸売業
法人番号 9010001043063 (<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/en/kenkireki-joho.html?selHouzInNo=9010001043063>)

事業内容 卸売業、製造業、貿易業
代表者 12代目国分勘兵衛(代表取締役会長兼CEO)
国分莞(代表取締役社長執行役員兼経営統括本部長兼COO)


資本金 35億円
売上高 連結 1368.814億円(2021年12月期)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/国分グループ本社>



その1 大徳尾形家に伝わる雛人形

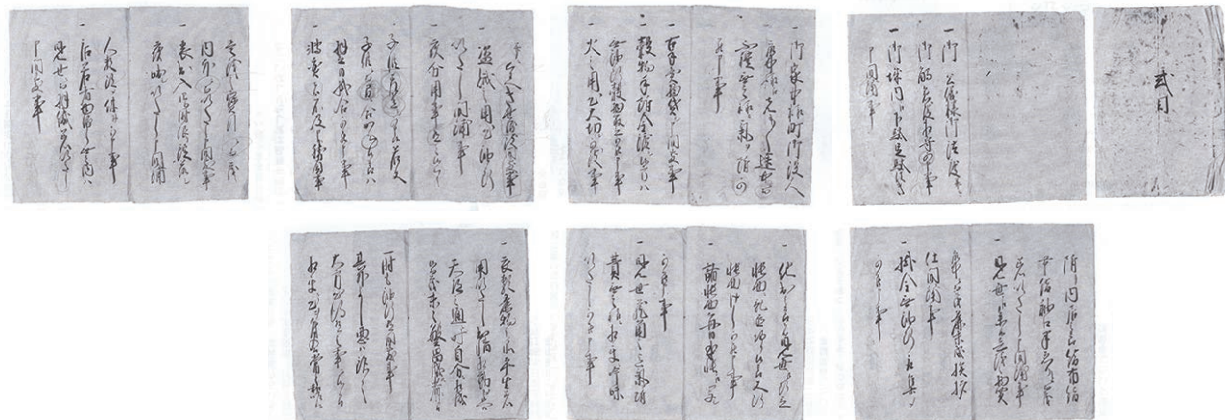
【尾形家の古今雛】
写真は、三代目徳兵衛の娘(1828年生まれの)雛人形と思われ、目には玉眼がはめられ、両手は膝の上で重ねられています。これは江戸の町人によって作られた古今雛の特徴です。写実的な容貌と美しい髪束の古今雛は江戸時代後期に流行し、現代の雛人形へと続いています。



【右に座る？ 左に座る？】
いろいろな雛人形を見くらべてみると、お内裏様とおひな様が置かれている位置の違いがあることにお気づきになるでしょう。

明治時代以前の日本では「左側が上位である」とされたため、お内裏様が左側(昔さんから見ると向かって右側)に置かれていました。現在の雛人形は、京都などの一部地域を除き、西洋のマナーにならって、かつてとは逆の位置(お内裏様が左

31





田園村竹田は長崎や京都への遊学を通じて煎茶を愛好するようになり、広島から上京した頼山陽と交友を深めました。竹田は、『信濃記』、『竹田往來記』などの煎茶書を著し、山陽は鶴川への書斎『山微本別荘』で思想家としての著作を行い、詩・書・画を作りながら煎茶を楽しみました。この二人の交友は、煎茶を通じて、陶工の青木木末をはじめ、漢詩の種崎小竹、文人画の重上春草、岡田半江などと輪をひろげています。

文化・文政期から幕末にかけては、煎茶が流行しただけでなく、文人画もその全盛期を迎え、工芸の世界にも多くの名工が輩出しました。また煎茶の隆盛につれて、中堅から煎茶器や文房具が数多くもたらされています。この煎茶の隆盛は、山本錦造や田園村竹田の養子直入、富岡孫吉などに受け継がれました。

当時の煎茶文化は、16世紀末の千利休を代表する抹茶文化とは異なり、中国茶文化を吸収し、煎茶を文芸生活の中に位置付け、俳句や符紙、書画、詩作などを楽しむといった活動の一環として発展したことに特徴があります。

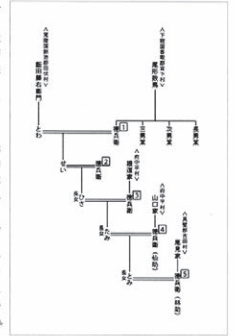
明治維新の変革期には、大きな打撃を受けた旧大名家が田園の名品類を一斉に売りたて、明治後期から大正・昭和初期にかけてさまざまな実用品ブームを生み出しました。

【大田園徳兵衛家と煎茶具】

大田園徳兵衛家では、三代徳兵衛（徳ひさ）の代に、大進丸を建造し、利用川水系・霞ヶ浦を利用して江戸へ仕立しました。往路は土浦地方の物資を運び、帰りに江戸の高級品や手紙を仕入れて、大いに利益をおぼたと伝えられています。

徳兵衛家では、二代から五代まで養子を迎えて継ぐ継ぐ継がけが行われています。

階級・才覚のある養子によって階級が晋まれ、家の血統は旧代徳兵衛の徳せい、二代徳兵衛の徳ひさ、三代徳兵衛の徳たみ、四代徳兵衛の徳とみに受け継がれます。女主人は高い教養を身につけ、自由になる個人財産を所有し、積極的に家の外の世界とも関わっていたことが知られています。徳兵衛家の煎茶具はこの三代の間に蒐集され、美作工品にもすぐれたものが多いようです。これらの茶具は代々の女主人によって大事に伝えられ、土浦近郷の商人や文人たちとの交遊の場を通じて、人々との交わりの具となっていたのではないのでしょうか。



▲大田園徳兵衛家系図